



東北大学



2010年9月7日

報道機関 各位

東北大学 東北アジア研究センター
独立行政法人海洋研究開発機構

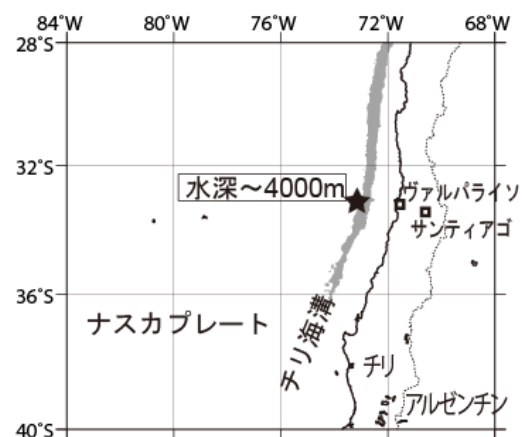
チリ海溝沖で新型火山「プチスポット火山」を発見

(概要説明)

2006年に三陸沖で発見された地球上の新型火山「プチスポット」海底火山が、2009年3月に行われた東北アジア研究センター平野直人助教らの、海洋研究開発機構が所有する海洋地球研究船「みらい」によるチリ沖の深海底調査で発見されました。

(説明)

プチスポット海底火山は、今までの地球科学の認識では火山活動は「有り得ない」とされていた通常の深海底や海溝に近い深海底(三陸沖の太平洋プレート上;左図の星印)で発見された新種の火山です。自然科学の国際学術誌「Science」に掲載された論文:Hirano *et al.* (2006)で発表されたこの火山の形成モデルによると、マグマの供給や上昇はプレート沈み込みに伴うプレートの屈曲に深く関わっているため、そのような火山の存在は三陸沖以外の様々な海域にも存在しているだろうと予想されていました。そして今回、チリ沖(水深~4000 m;右図の星印)でも存在が確認されたことにより、その火山形成モデルが証明されることとなりました。この研究成果は、9月7~9日に立正大学熊谷キャンパスで開催される「日本地球化学会」(8日 9:45~)で発表されます。



【お問い合わせ先】

東北大学 東北アジア研究センター
担当: 平野直人・東北アジア研究センター事務室
電話: 022-795-3618・6009
電子メール: nhirano@cneas.tohoku.ac.jp

独立行政法人海洋研究開発機構
担当: 阿部なつ江
電話: 046-867-9329